





序

性若乃深瑠璃ノ。操合袖

日記とくやおりのし出る。諸君の

風骨紙乃を帯帯小書か

ちく。つらつ結末乃。矢分はとけ

成り。才抄録うり。又抄とる。

郷賢庭文庫

誠定

本久



夕

身二 唐儒の智も自博校合は遠くも代

唐もこれに在るにすまは、唐もこれに在るにすまは、 稗史の

子出るも唐のいかにあるは、唐のいかにあるは、 唐

稗史の智も自博校合は遠くも代

身三 和尙の相撲も此の早人新の事

和尙の相撲も此の早人新の事

和尙の相撲も此の早人新の事

和尙の相撲も此の早人新の事

① 唐の杖よりさみせんを、唐の杖よりさみせんを、 事をも儒者

偉なる或武徳を流西海小亡じて後天下の威

福金の一統と靡る事本をなかりけき、福金の一統と靡る事本をなかりけき、 唐

源二位相州公徳大なるは、源二位相州公徳大なるは、 夫は

以て伎冠とす。乱まる時小の武徳を以て功徳とせり、以て伎冠とす。乱まる時小の武徳を以て功徳とせり、 今

四海波勢なるに而て福金中れを、四海波勢なるに而て福金中れを、 以て一

名ありて言ふ事あり。指さすこと何れされ、名ありて言ふ事あり。指さすこと何れされ、 國は

唐元法を以て作りたり。其の徳も、唐元法を以て作りたり。其の徳も、 好ま

いとよき事。唐の業とす。その小の唐も、いとよき事。唐の業とす。その小の唐も、 一

はては、はては、 其の徳も、好ま

興ありて、興ありて、 其の徳も、好ま



より香久の一曲これ西をさみせんつゝあを潤子あつゝり因
字都美んやうこひくけてきみぞれ曙乃むつてこひまここと
けりこそアれは句面整は座をとおされさうほろ板かきも
あつゝりぬは身何ぞやその小かハ雷と女う解たのせれこれ
さゆはほりこる又句まぬあつゝりとはけいんはほつたも
仕付たん事致とぬこてまらねさみせんは先解とひ
なりとやに虎と毎葉と奥はさまうてそれるるはあつゝり
さみまうこひアん志と。アれみせんすはくたれは片擧書よこ
ぐとさう。おれりふちあつゝりこさうえは句面さうとさう
地まは意そのぞろおられ遠化の切る事たれあつゝりん
然るふそれとおれのふちくるれと解さうりたちくる
ぞれや人をと何ぞ遠化おつゝりやアつゝりまらつゝりん

聖人の糸あつゝりすまふたつとち積張たれは一升酒乃研も
さめて是ゆ卒走盲目先せんは招ひて少備後あつゝりか
おとあつゝりたつとからよ梶原生次はゆたてきまつさうこふ
二條せんをゆほつゝりあつゝりれ小うふ絶は付てのづう
ゆれおさみせんれ初入たれはさうやあつゝりといつゝりあつゝり
ゆださうこひあつゝりあつゝり小強弱とほろあつゝりたれづとて
おつゝりこひあつゝりこひあつゝりれは雪をさうさう。たれあつゝりま
さうさうとけりうけてあつゝりた。句面一あつゝりう。おつゝり入てと
ゆれおさみせん。雪があれはけりこひあつゝりあつゝりけりこひあつゝり
おれあつゝりこひあつゝりあつゝりた。ただおれあつゝりあつゝり
あつゝりあつゝりこひあつゝりあつゝりあつゝりあつゝりあつゝり
あつゝりあつゝりあつゝりあつゝりあつゝりあつゝりあつゝりあつゝり
あつゝりあつゝりあつゝりあつゝりあつゝりあつゝりあつゝりあつゝり

鼻毛めつどいにおく。核あくる感どりりつうけあふよ
せん獅子に似てゆたいかめしきまうけきば。森をわてあぐわ
のらやういよいのをわしりる。師とまゝの師
やいふ。かやういふ福いあつて。ゆたかおぼたれ。あつて
縁にまゝて。はたかかりに。はたかまやふあつて。まけき
る。あつて。あつて。あつて。あつて。あつて。あつて。あつて。あつて。
て。あつて。あつて。あつて。あつて。あつて。あつて。あつて。あつて。
へ。あつて。あつて。あつて。あつて。あつて。あつて。あつて。あつて。
へ。あつて。あつて。あつて。あつて。あつて。あつて。あつて。あつて。

杖とうりふらるに。如くおまのりあふれを。合のり
あふらよめて。一搭活と合とゆさ。小分れたん。池の
らんあたらぶどが。あらんぼをうて。むくれつ。まを
道そひめ。る目ら。一張も。りまひと。ありた。らう
うけ。ゆりゆい。りら。れけふ。

二 磨儒れ智意自慢抜合乃遠つて才代

次ふ比全判友まうりおて。いふと。ち紀あやさる。色に偏
学を。あひみ。偏を。うら。て。人乃。人なる。あ。ゆ。へ。あ
たれば。ど。も。る。ふ。う。た。教。人。て。あ。ゆ。く。れ。あ。業。と。さ。り。て。
ま。ま。業。の。た。ら。う。と。あ。ゆ。い。ま。ま。あ。ゆ。く。れ。あ。人
あ。ゆ。く。人。を。教。ふ。た。の。ん。で。地。獄。へ。あ。ゆ。く。あ。ゆ。く。あ。ゆ。く。あ。ゆ。く。
あ。ゆ。く。あ。ゆ。く。あ。ゆ。く。あ。ゆ。く。あ。ゆ。く。あ。ゆ。く。あ。ゆ。く。あ。ゆ。く。

お乃きふあうとれがかりと。向きてはてしなくそのふ
かづねを乃と申わさるまゝなり。人のそのと世れおのふ
かづねのうんばを。母ひける行ふ初を。行ふ福念を。うりま
よとる。令れ。然もまきて。よびにくれた。あがふゆは。福念
乃申子た。師。命。まのり。出家。におく。ま。び。おの。づ。う。ま。び
く。志。身。の。剛。力。グ。女。あり。志。志。志。志。令。の。あ。む。つ。ま。び
あ。て。ま。ま。び。お。代。の。七。十。こ。は。て。じ。と。こ。れ。性。根。乃。入。り。り
たる。を。初。と。て。死。で。ま。ま。り。れ。因。人。乃。共。た。と。り。ま。ま。あ。め。く。
身。代。た。う。く。に。ぬ。を。も。め。ま。つ。ぶ。記。の。死。因。を。と。何。と。も。さ。る。
ま。あ。乃。を。わ。だ。ご。ま。あ。ひ。た。ぐ。母。れ。志。志。志。志。ま。ま。ま。び。う。法
ま。あ。ゆ。ま。り。り。の。く。れ。わ。さ。ら。り。の。を。あ。め。さ。る。あ。西。直。法
新。法。よ。り。知。て。り。ん。あ。ふ。い。大。づ。う。さ。よ。ひ。ひ。み。り。れ。く。い

おはあまといわでいさひ。あうぐさうのまを。おん。ご。ま。び。や。し。を
まに。血。を。流。ま。せ。て。さ。ら。り。さ。ん。や。う。み。そ。あ。ん。お。ひ。あ。て
賊。布。れ。い。あ。り。り。さ。ら。り。あ。て。も。ゆ。り。れ。福。念。乃。あ。い。家。修。え
か。が。て。は。白。ふ。後。に。は。佐。なら。た。る。秘。あ。め。さ。る。ま。ま。あ。い。は。
修。治。實。れ。招。ふ。も。と。着。板。を。あ。り。子。自。身。子。を。だ。れ。釋。
あ。招。孤。井。へ。け。の。こ。を。あ。り。て。お。の。り。れ。お。の。り。釋。二。う。り
や。う。お。佛。教。の。ま。り。と。は。び。ま。あ。る。ま。ら。む。い。か。あ。い。男。く。う。り
た。う。さ。の。引。う。へ。れ。母。織。少。被。り。小。儀。責。れ。ま。あ。い。あ。り
く。け。る。知。う。に。招。招。小。令。同。ん。て。む。ん。あ。り。く。後。若。の。後。三
條。さ。ら。ま。ま。ら。う。が。り。か。ら。び。あ。い。う。て。子。子。あ。あ。さ。ら。あ。い
剛。也。お。あ。い。ま。あ。の。何。を。か。さ。ら。と。さ。ら。あ。い。の。后。た。の。后。を
お。し。ま。し。て。さ。ら。り。あ。ん。お。乃。あ。あ。つ。う。ひ。さ。ら。り。ま。あ。い。あ。

42
5
10

人ござりまじりてつねにそのれがしるはるるをて
 よめ八むらりていれらるる何程のゆとつていふた
 極か車版なまらぬまきせぬといふ困力たうようこと
 手代乃思やみ人津子唐お屋をその想はらるる
 車版をまきぬといふん我一流をもほごなればか
 分情物給へおつはけよまなされ極古れ功によりて
 かもつことすりもや十思あられお屋まの村にもありま
 さつちりまじりあつたれ中子とそれよりまじり
 脚穿れ履くこととつてあけるけ困力が似城たみこと
 あつてよりあつたにまらるるを子乃像今に京が極乃
 は子にゆたあつたよりいふんあつたれまじり

三 私あれお撲ぬの早八報乃手紙

朝比奈さうおまゝして極あつたゆ影た。君はもと
 一興にわがめさんいそまると暇をこころ行ふやあれ
 ゆと影をよまきせぬお角福余申れこころいふお撲たるり
 それなる候暇をけりて申はげ候いて物をあ撲乃
 考うと出たれ極あれ甚甚寺乃位ら。天乃私あ。年
 早さそ加る申れつてはあ撲ぬれを。あひ時よりまお
 撲と申てはかまはげけみれとみまらうけてあなりを
 十念有るまらつといひけるが。以の速元元年八月二日。早月報
 此報あを候度れ知をわ撲知をえよりあひたれあ屋
 をうけて極ある人極あをあてける。極あ思あれつらふ
 西乃うよりえんれ私あ。後れまら。こころに別あ。まは極へ
 よりらう。思をこころとまら。れだ。私乃こころ。申村乃



あまのり
か
い
い
い
い

あまのり
か
い
い
い
い

あまのり
か
い
い
い
い

あまのり
か
い
い
い
い



あまのり
か
い
い
い
い

あまのり
か
い
い
い
い

あまのり
か
い
い
い
い

あまのり
か
い
い
い
い

あまのり
か
い
い
い
い

一之巻 終
若くは... 此の... 佛の... 人乃... たりて... ありて... ありて... ありて... ありて...
若くは... 此の... 佛の... 人乃... たりて... ありて... ありて... ありて... ありて...
若くは... 此の... 佛の... 人乃... たりて... ありて... ありて... ありて... ありて...

此の... 佛の... 人乃... たりて... ありて... ありて... ありて... ありて...
此の... 佛の... 人乃... たりて... ありて... ありて... ありて... ありて...
此の... 佛の... 人乃... たりて... ありて... ありて... ありて... ありて...

